

第1学年国語科学習指導案

日時 平成28年9月28日(水)

児童 1年 男10名 女8名 計18名

1 単元名 いろいろなりのもの本をよんで、かるたにまとめよう

中心学習材 「いろいろなふね」(東京書籍 1年 下)

補助学習材 乗り物に関する本

2 付けたい力と言語活動

《主となる指導事項》

◎時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(読イ)



《付けたい力》

◎書かれている事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み取る力。

《言語活動とその特徴》

◇乗り物に関する本を読み、「のりものかるた」を作る。

◆「やく目」「つくり」「できること」の観点で調べたことを、かるたの読み札としてカードにまとめていくことにより、書かれている事柄の順序に気を付けて、内容の大体を読み取る力を身に付けることができる。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期の「どうやってみをまもるのかな」の学習において、「問い」と「答え」に着目しながら説明的文章の簡単な文章構造を知り、動物の体の特徴と身の守り方の関係を挿絵と叙述を結び付けながら読み取る学習を行ってきた。そこでは、動物がどうやって身を守るのかを中心学習材から書き出したり、好きな動物の身の守り方について知るために易しい図鑑を読んだりしてきた。また、文章の内容の大体を読み取ったり、自分の好きな本を選んで読んだりする学習は行ってきたが、個人差は大きい。

本単元では、乗り物に関する本を読み、「やく目」「つくり」「できること」の観点で調べたことをカードにまとめ、かるたにする言語活動を行う。この活動を通して、書かれている事柄の順序に気を付けて内容の大体を読み取ることや、3つの観点到合合わせて必要な言葉や文を見付け書き抜く力を育みたい。

(2) 学習材について

第1学年の「読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。これを受けて本単元では、学習指導要領「C 読むこと」の指導事項「イ時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと」に重点を置き、指導しようとするものである。

本学習材「いろいろなふね」は、特徴的な機能を持った4種類の船を例として取り上げ「やく目」「つくり」「できること」という観点で船の仕組みについて説明した文章である。それぞれの例示が同じ文型で説明されており、叙述に即して内容をとらえるのに適している。また、同じ説明の仕方を繰り返しているために、表現の仕方を学び、自分の表現に生かすことにも適した教材である。

この時期の児童は、物語だけでなく科学的な読み物など、説明的な文章にも読書の広がりを見せ始める。いろいろな乗り物について本を読んで調べる活動を通して、読む目的を意識して本や文章を選び、書かれている事柄に気を付けながら読み、内容をとらえる力をつけさせたい。

(3) 指導について

第一次では、「乗り物の本を読んで分かったことをかるたにし、乗り物かるた大会を開こう」という計画を立て、活動の見通しを持たせる。秋に行われる伊保内保育園の子ども達との交流会で、園児たちが喜ぶかるた大会を行うという場の設定をすることで、相手意識と目的意識を持たせられると考える。また、観点のはっきり示されたかるたのモデルを提示し、児童が観点に沿って読み札を作ることができるようにする。読書環境づくりとして、乗り物に関する本の特設コーナーを設置し、児童が常時、自由に手に取って見たり読んだりできるようにしたい。

第二次では、4種類の船について「やく目」「つくり」「できること」の観点に合わせて読み取らせていく。文型から内容をとらえる際には、「～は～のためのふねです。」「～には、～があります。」といった主語と述語の関係や接続語の使われ方に着目させる。そして、3つの観点にあう大事な言葉や文を書き抜き、かるたを作る活動を行う。読み札となる部分をスリーヒントで短くまとめる形にしていく。また、単位時間の後半はいろいろな自動車について書かれた資料を提示し、補助学習材でも3つの観点について自分で読み取るための学習をする。資料の分量や内容を増やしながらか段階的に提示し、読み取らせていく。

第三次では、教師がリライトした乗り物シートから、自分が一番お気に入りの乗り物を選び、「のりものかるた」を作る。自分が選んだ乗り物の「つくり」「やく目」「できること」に関わる部分や、「～のため」「～がついています」「～できるように」等の手がかりになる言葉には付箋をつけながら調べるようにし、必要な情報を得るためにどこに着目するかを考えさせていく。また、学級でもかるた大会を行い、保育園の子ども達に向けて紹介できるようにしていく。

《中心学習材と言語活動》

<p>6月 「どうやって みまもるのかな」 動物の本を読み、動物の秘密 についてお話しする。 (動物のひみつ お話ししよう)</p>	<p>9月(本単元) 「いろいろなふね」 「やく目」「つくり」「できる こと」の観点で調べたことを、 かるたの読み札としてカードに まとめていくことにより、書か れている事柄の順序に気を付け て、内容の大体を読み取る力を 身に付けることができる。 (のりものかるた)</p>	<p>3月 「はがぬけたら どうするの」 自分の経験と結び付けなが ら文章を読み、自分の好きなや り方の「お気に入り紹介カー ド」を作る。(紹介カード)</p>
--	---	---

3 単元目標と評価規準, 指導計画

(1) 単元の指導目標

○乗り物に興味を持って教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとする。

【関心・意欲・態度】

◎事柄の順序に気をつけながら、内容の大体を読み取ることができる。

【読むこと イ】

○主語と述語の関係に気を付けて読むことができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(カ)】

(2) 単元の評価規準

国語への関心・ 意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
○乗り物に興味を持って教材文を読み、好きな乗り物について調べようとしている。	◎書かれている事柄の順序が分かり、乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を見付けながら船についての内容の大体を読み取っている。(Cイ)	○主語と述語の関係に気を付けて読んでいく。

(3) 単元指導計画 (全 11 時間)

	【主な学習活動】	【評 価】
<p>第一次 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。</p>	<p>① 乗り物に関する本を読み、好きな乗り物かるたを作って保育園児と交流するという学習の目的と見通しを持つ。</p>	<p>① 乗り物についての文章を読んだり、好きな乗り物について調べたりする活動に興味を持って取り組もうとしている。 (行動観察・発言)</p>
<p>第二次 4種類の船のそれぞれの特徴を読み取り、かるたカードを書く。</p>	<p>② 教材文を読み、全体の文章構成をとらえる。並行読書を始める。</p> <p>③ 「きやくせん」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、かるたカードを書く。</p> <p>④ 「フェリーボート」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、かるたカードを書く。</p> <p>⑤ 「ぎょせん」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、かるたカードを書く。</p> <p>⑥ 「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、かるたカードを書く。(本時)</p> <p>⑦ まとめの文を読み取る。他の乗り物について読み取り、かるたカードを書く。</p>	<p>② 四つの船や、その船が「やく目」「つくり」「できること」の順で構成されていることについてとらえている。 (Cイ) (発言・観察)</p> <p>③ 「きやくせん」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事な言葉に気を付けながらかるたカードに書いている。(Cイ) (発言・カード)</p> <p>④ 「フェリーボート」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事な言葉に気を付けながらかるたカードに書いている。 (Cイ) (発言・カード)</p> <p>⑤ 「ぎょせん」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事な言葉に気を付けながらかるたカードに書いている。(Cイ) (発言・カード)</p> <p>⑥ 「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、大事な言葉に気を付けながらかるたカードに書いている。 (Cイ) (発言・カード)</p> <p>⑦ まとめの働きをとらえている。他の乗り物について読み取り、大事な言葉に気を付けながらかるたカードに書いている。(Cイ) (発言・カード)</p>
<p>第三次 自分の好きな乗り物かるたを作り、かるた大会を開き交流する。</p>	<p>⑧⑨ 自分の選んだ乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を調べて、かるたカードに書く。</p> <p>⑩ クラスで乗り物かるた大会を開き交流する。</p> <p>⑪ 保育園児に乗り物かるた大会を開き交流する。</p>	<p>⑧⑨ 自分が選んだ乗り物シートから、かるたを作るために必要な「やく目」「つくり」「できること」を見付けかるたカードに書いている。 (Cエ) (かるたカード)</p> <p>⑩ 友達の作ったかるたに興味を持ち、楽しんで交流している。</p> <p>⑪ 保育園児に楽しんでクイズを出している。</p>

4 本時の指導

(1) 目標

「やく目」「つくり」「できること」に着目しながら、「しょうぼうてい」について読み取ることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導の要点・留意点・評価
		○指導の要点 ・指導の留意点 ※評価箇所
導 入 4 分	1 本時の学習課題を確認する。 しょうぼうていは、どんなふねかな。	・消防艇の読み札を完成させるため、「やく目」「つくり」「できること」に気を付けて読んでいくことを確認する。
展 開 36 分	3 学習課題を解決する。 (1) 消防艇の「やく目」「つくり」「できること」を見付ける。 ※個 → ペア (交流) (2) かるたカードに書く。 ※個 → グループ (交流) (3) 全体で交流する。 4 他の資料を読む。 (1) 乗り物の手作り資料から「やく目」「つくり」「できること」を読み取り、見付けたところに線を引く。 (2) 線を引いたところをペアで確認し合う。 (3) 全体で交流する。	・「やく目」「つくり」「できること」にサイドラインを引いたり、色分けの付箋を貼って、役目や工夫をとらえやすくする。 ○自分で見付けられない児童には、「ための」「ついています」という言葉に注目させる。 ○個別に引いたサイドラインが3つの観点に合っているかを、ペアで話し合わせる。 ○文章をそのまま書くのではなく、短くまとめるよう助言する。 ○3つの観点が合っているかを確認したり、違っているところを話し合わせたりして、カードに書くようにする。 ※評価規準 B 「しょうぼうてい」の「やく目」「つくり」「できること」を見付け、かるたカードに書いている。 (かるたカード, 発言) ・叙述と写真を見比べながら、「やく目」「つくり」「できること」を確認し、読みを確かなものにする。 ・ポンプやホースの役割等の補足説明をし、消防艇のイメージを膨らませる。 ・本時で3回目の活動となるため、分量や書かれている内容を増やした資料を提示する。 ○3つの観点が合っているかを確認したり、違っているところを話し合わせたりする。
終 末 5 分	5 学習を振り返る。 6 次時の学習内容を確認する。	・本時の学習を通して、分かったことやできてよかったことを振り返らせる。

(3) 板書計画

